

事例を通して学びあおう

熊本市では、多職種連携に向けて各区の特色を活かした取り組みを進めていますが、今年度は講師に宇都宮宏子先生をお迎えして、市民病院と共同で研修会を開催することとしました。医療・介護関係者のみなさんで「顔の見える関係」をつくり、ともに学びあってみませんか。どうぞお気軽にご参加ください。

■プログラム

申込期限
6/26迄

第1部(10:00～)

- ・ 情報提供「熊本市の在宅医療連携の取り組み」
- ・ 講演「地域居住の継続(aging in place)をめざして
～どう生きたいかにチームで寄り添う～」

宇都宮 宏子先生(在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス)

第2部(13:00～)

- ・ 症例検討 (ファシリテーター 宇都宮 宏子先生)

※急性期病院から在宅療養への移行事例をもとに多職種のグループで話し合います。

【日時】 **7/4 (土) 10:00~15:30**

【場所】 ウェルパルクまもと (中央区大江5丁目1-1)

【定員】 70名 (各事業所2名まで、先着順)

【対象】 医療・介護従事者 ※職種は問いません

【申込】 FAXで事前にお申込ください。(6/26締切)

※会場の都合上、申込多数の場合は先着順とさせていただきます。何卒ご了承ください。

FAX送信先 096-371-5172

ご担当者

TEL

名前 (ふりがな)	所属 (事業所名)	職種	参加希望に○をつけてください
			第1部・第2部
			第1部・第2部

※会場の駐車場には限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用いただくか、お乗り合せのうえご来場いただきますようお願いいたします。